

科目名	日本語I	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	佐々木 香織		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-01-A-0-150007		国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること		
授業の目的	<p>新聞、新書などの文章を読み、人文社会科学の専門科目を受講する際に必要な語彙、文法、表現を学び、日本語での講義に積極的に参加できるよう日本語の運用力を高めることを目指す。また、適宜映像メディアも利用して、総合的な情報リテラシーの向上も目指す。</p> <p>国際社会で必要な知識を身に付けることを目指す。</p> <p>予復習に必要な時間数→講義科目は2時間ずつ。語学演習は1単位につき、30分ずつ。</p>				
学修到達目標	<p>学生のレベルが同じでない場合もあるので、各自で立てた目標に向けて、できるだけの支援をします。</p> <p>予習復習に各2時間程度（ただし個人差あり）</p>				
実務経験との関連性	国際交流基金シドニー日本文化センターでの教員研修や講座運営の経験を活かした日本語指導				

授業計画	
第1回	レベルチェック・テスト
第2回	テスト結果をもとにして、受講者の日本語のレベル、関心にあわせた教材を読んでいく。
第3回	テスト結果をもとにして、受講者の日本語のレベル、関心にあわせた教材を読んでいく。

第4回	テスト結果をもとにして、受講者の日本語のレベル、関心にあわせた教材を読んでいく。
第5回	テスト結果をもとにして、受講者の日本語のレベル、関心にあわせた教材を読んでいく。
第6回	テスト結果をもとにして、受講者の日本語のレベル、関心にあわせた教材を読んでいく。
第7回	興味のあるテーマの長い文献を読みこみ、必要な情報をまとめることができるように、新書などを読む。
第8回	興味のあるテーマの長い文献を読みこみ、必要な情報をまとめることができるように、新書などを読む。
第9回	興味のあるテーマの長い文献を読みこみ、必要な情報をまとめることができるように、新書などを読む。
第10回	興味のあるテーマの長い文献を読みこみ、必要な情報をまとめることができるように、新書などを読む。
第11回	長い文献を読みこみ、必要な情報をまとめることができるように、新書などを読む。
第12回	なじみがない分野の文献に触れて、語彙や表現の幅を広げる。
第13回	なじみがない分野の文献に触れて、語彙や表現の幅を広げる。

第14回	なじみがない分野の文献に触れて、語彙や表現の幅を広げる。
第15回	なじみがない分野の文献に触れて、語彙や表現の幅を広げる。
第16回	期末テストかレポート

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	予習は必要に応じて、単語の意味を調べたり、前回の復習を行ったりする。2時間程度（ただし個人差があります）
【復習】時間・内容	復習は、授業でわからなかった点を調べたり、練習問題を解いたりする。2時間程度（ただし個人差があります）

成績評価	
評価基準・方法	評価の目安：定期試験50%、授業態度・出席50%
フィードバック方法	授業内レポートは添削します。期末テストは希望があれば、採点し、解説を加えて返却します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート/グループワーク/プレゼンテーション/実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	レベルチェックテストの結果をみて、受講生と相談のうえ決める。決まるまではプリントを用意する。
受講上の留意点等	出席は当然のことながら、授業時間以外にも、単語の意味を調べるなどの最低限の予習は必須です。 また、日本語能力試験や、各自の専門の科目に関する日本語についても、指導しますので、積極的に要望を出してください。
JABEE	